

2月4日 水のセミナー
水素水と静電三法 その1

『静電三法』の著者 榎崎臯月

榎崎臯月（ならさき さつき、1899－1974）

- 北海道生まれ
- 物理学者
- 少尉
- 日本電子工業の電気の専門学校に学ぶ



満州の製鉄所の調査

満州に日本が管理する製鉄所が2つあり、全く同じ鉄鉱石を使っているのに、片方は効率よく良いものが作れるのに、もう片方はうまくいかない。

陸軍省より要請を受け、これの調査のために榎崎臯月氏が満州に渡った。

地面の電位（ORP）が違う（電気の力が違う、流れが良くない）と物がよく出来ないという原因を見つけ出して改善。2か所とも良い鉄が作れるようになった。

大地農法

敗戦後、兵士たちが多数復員してくる中、農業不作が重なり深刻な食糧難になった。

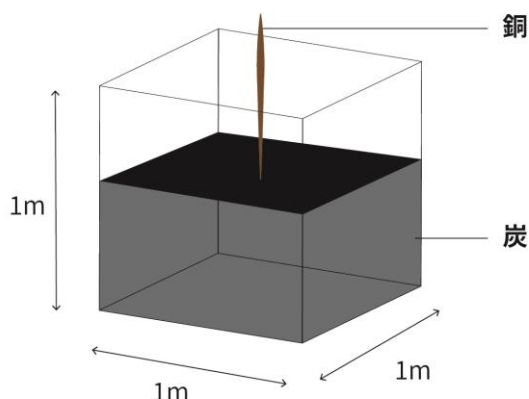
国から農業の生産性を上げるよう要請を受けた榎崎臯月氏は全国を回り調査、実地試験を行った。

その後、実地試験の成果として取りまとめた農業技術「植物波農法」。
その一つである「大地農法」は、土の中の電位（ORP）を計り、電位を調整することで収穫を上げる方法。

※電位が高ければ電気が通りにくく、電位が低ければ電気が流れやすい。

静電三法 炭素埋設法（埋炭）

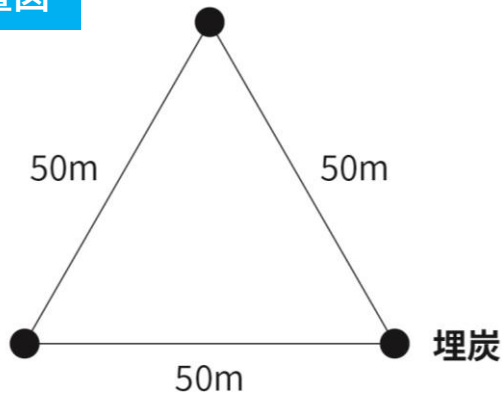
埋設図



1. 1m角に下約30cmくらい炭を入れる
2. 土に埋め、塩水を入れて踏み固める
3. 炭の中に太い銅線を入れる
4. 土をかけて元に戻す

- 収穫が上がる
- 健康になる
- 全ての生物相が良くなる

埋設配置図



埋炭を正三角形を維持しながら埋め込んでいくと良い電位の状態になる。
やる場合は深く掘る(1m程度)方がいい。

【 不思議な誤作動があるかも？ 】

- ・カメラが一時的にトラブル
- ・リモコン動作にトラブル

大地の電位の変化

【ゴードの経験例】

炭素埋設前に接地抵抗計で計測 **300 Ω — 450 Ω**



炭素埋設してから計測 **50 Ω**



(最長の場合) 3か月後に計測 **10 Ω 以下**

埋炭による変化1 生物相が変わる

- ・ 土壌微生物が発酵系になる。
- ・ 線虫、ミミズ、蟻、ダンゴムシ、蜘蛛、猪がいなくなる

すべての生き物はエネルギーの貸し借りをしているが、電位が下がることによりそれがスムーズに行えるようになる。

埋炭による変化2 収量がアップする

- ・ 電位が低くなる
- ・ 土壌でのミネラル移動がスムーズ
- ・ 害虫が生育しない
- ・ 植物の生育が良い
- ・ 収量がアップする

ORPが低い水素水でやればもっと良くなる

水素水や電気が通りやすい水（エネルギーがもらいやすい水）でやると発芽率・生育率が上がる。

埋炭による変化3 健康になる

- ・ アーシングされる
- ・ 身体の電位が低くなる

人間も動物も大地とつながっている足裏に末梢神経が集中している

地球は電磁気場で覆われている。様々な周波数が変動を繰り返して、自由電子の電氣的なエネルギーが足裏から供給される。地球の波動と同じリズムを受けるからこそ、バイオリズムがあり、自律神経が正常に働き、健康が維持される。